

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 島根県 】

学校名【 松江市立湖南中学校 】

1 実践テーマ	①・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・⑤(複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	第3学年・182名 / 教職員45名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習) ② 行事名 () ③ その他 (職員研修) (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	運動やスポーツの価値について再確認し、オリンピック・パラリンピックへの関心を高める。また、コロナによる影響をどうプラスに転じるかについて考える機会とする。
5 取組内容	吉田繁敬 氏【アイ・プラス株式会社 代表取締役】による講演／研修 <講師プロフィール> 心理カウンセラー／ジュニアスポーツ指導員／公益財団法人日本スポーツ協会スポーツ医・科学委員会研究班員 <講師からの主なメッセージ：講演> ○ 新型コロナウイルスの影響で各種大会・コンクールが中止となったが、逆に貴重な経験ができたと考えることもできる。部活動を通じて皆で頑張ることが目的になっている人は、良い記憶になるはず。 ○ スポーツには自分で判断・決断しなければならない場面がある。中学生ではその基礎を培ってほしい。 ○ スポーツの意義は様々。若いうちから運動習慣を身に付けてほしい。 <講師からの主なメッセージ：職員研修> ○ 部活動の目的は人間形成にあることについて、再度意識して運営にあたってほしい。 ○ 一人一人の成長段階を見取って指導することが重要である。



<p>6 主な成果</p>	<p>講演・講義を聴き、以下のような感想を残した。</p> <p><生徒の感想：抜粋></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運動神経に関係なく、健康なら普通にできると思っていたことが、これまでの経験や積み重ねによるものだとわかりました。 ・ 勝利だけにこだわらず、振り返ることが大事だと聞いて、勉強でもスポーツでも一緒だと思いました。 ・ スポーツで生計を立てていける人はごくわずかで、スポーツを通して人間性や社会に出たときに役立つ力を身に付けてほしい、という言葉が心に残りました。 ・ 最近、公民の授業でユニバーサルデザインやノーマライゼーション、障害者基本法などの、体が不自由な方に対する法律や取組を学んでいるので、わかりやすく想像しやすかった。 ・ 競技だけでなく、健康や楽しみのためにもスポーツがあることがわかった。自分に合った形でスポーツに関わりたい。 <p><職員の感想：抜粋></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4～6月生まれの子供は体格が大きく、チャンスに恵まれている例は実感としてあった。見通しをもって指導に当たる必要があると感じた。 ・ 大会中止への対処や「クラムジー」など、子供の訴えにどう適切に対応するかは教師として腕の見せ所だと思った。 ・ 「育てる、指導する」というより「育つ環境を整える」という感覚をもつことが大事だという話が心に残った。 <p>※ 講演・研修共に、運動やスポーツの意義や価値について再認識する機会となった。参加者は、東京大会のニュースに触れるたびに今回の内容を想起し、自身のこととして捉えることが期待できる。コロナの影響もプラスにつながるよう、それぞれが意識的に動いていく必要を感じた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>7 実践において工夫した点（事業の特色）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校単独ではなかなか招聘できない著名な講師を選定。 ・ 日頃の運動やスポーツについてわかりやすく話題を提供。 ・ コロナ禍の中で、指導者として何ができるかについて考える機会とする。
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍により聴衆者の人数を限定せざるを得ない。 ・ 通信環境が不十分なため、リモートによる講演等ができない。 ・ 県外から講師を招聘する場合、現段階では様々な制約を受ける。
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東京大会の開催に向けたニュースなどをタイムリーに発信。 ・ 図書館における特設コーナーの充実。 ・ 聖火リレーなど、地元でのイベントに対する協力。

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 島根県 】

学校名【 松江市立湖南中学校 】

1 実践テーマ	①・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・⑤(複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	第3学年・182名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	オリンピックの話をお聴くことにより、華やかな活躍の裏には本人にしかわからない努力や犠牲があることなどを知ることができ、キャリア教育として生き方のヒントを得る機会となる。また、オリンピック・パラリンピックへの関心が高まる。
5 取組内容	<p>鹿島文博 氏【大東文化大学スポーツ健康科学部准教授】による講演</p> <p><講師プロフィール> 2004年「アテネオリンピック：男子体操競技」団体：金メダリスト。中学3年生で全日本選手権『あん馬』優勝。以降、世界選手権で『鉄棒/あん馬』で金メダルほか。</p> <p><講師からの主なメッセージ></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 失敗することは、原因を突き詰めて成功につなげるチャンス。その後の行動が重要になる。 ○ 目標を具現化すると、頑張る方向性が決まる。 ○ スランプを乗り越えるために、オリンピックを「夢」ではなく「目標」に変え、行動に移した。 ○ 頑張れば結果につながるわけではない。しかし、無駄なものはなく必ず自分に返ってくる。



<p>6 主な成果</p>	<p>講演を聴き、生徒たちは以下のような感想を残した。</p> <p><生徒の感想：抜粋></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「オリンピックは運が必要だけど、その運は努力した者にしかもらえない」という言葉が一番心に残りました。 ・ 今日の講演を聞いて、もっと体操に興味が湧きました。来年に延期になってしまった東京オリンピックもとても楽しみにになりました。 ・ 『強くなりたい』ではなく『強くありたい』というところに（なるほどな）と思いました。 ・ 自分の中で一番心に残ったことは、「意志が変われば見方が変わり、見方が変われば覚悟ができ、覚悟があれば大抵のことはできる。」という言葉でした。 ・ 正直、東京でオリンピックが開催されると聞いても興味がなかったけど、来年、真剣に日本の活躍を見たいです。 <p>※ オリンピアンの方の生き方や考え方に触れることで、所期のねらいに迫ることができ、生徒は自分自身の日常につなげるきっかけとなった。また、その後の生活においても話題に上るなど、東京大会や体操への関心が高まってきている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>7 実践において工夫した点（事業の特色）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校単独ではなかなか招聘できない著名な講師を選定。 ・ 非日常的な話題を提供。 ・ 聴衆の興味関心を引くツールとして、オリンピックや国際大会などの映像も講師側が準備。
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍により聴衆者の人数を限定せざるを得ない。 ・ 通信環境が不十分なため、リモートによる講演ができない。 ・ オリンピアンやパラリンピアンを県外から招聘する場合、現段階では様々な制約を受ける。
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東京大会の開催に向けたニュースなどをタイムリーに発信。 ・ 図書館における特設コーナーの充実。 ・ 聖火リレーなど、地元でのイベントに対する協力。